

資産運用の読み物

経済・投資のあんちよこ



VOL.20

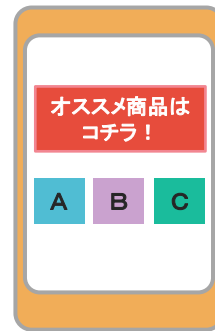
ビッグデータは、どんな分野で活用されようとしているの？

今回の話題

今やビジネスの現場で頻繁に語られている「ビッグデータ」。ビッグデータとは、社会のいろいろな分野で発生する膨大なデータ群のことです。でも実際にビッグデータは、どんな分野でどのように活用されようとしているのでしょうか？ ビッグデータの活用例に迫ります。

マーケティング活動から農業、医療分野まで

- ビッグデータ活用の代表例が、オンラインショップのおすすめ機能です。膨大な購入履歴をもとに、年齢、性別、地域ごとの売れ筋や、その商品を買った人が他に何を買ったのかなどを分析し、消費者一人ひとりに最適な商品を提示するなど、マーケティング活動に変革をもたらしました。
- ビッグデータの活用は、一次産業でも始まっています。例えば農作物の生産では、温度、湿度、日射、土壌成分などの膨大なデータと育成データを解析し、いかにクオリティの高い農作物をたくさん効率よく生産できるかが取り組まれています。
- また医療分野では、病気と生活習慣、体質、遺伝子情報などとの因果関係の解析が進んでおり、新しい治療や予防の開発が試みられています。
- 世界のビッグデータ市場は2018年には2013年の約3倍となる463億4000ドルに拡大する見通しで（※）、今後も様々な分野で変革を起こしそうです。
（※）米調査会社MarketsandMarkets社のレポートより

■ビッグデータの活用例
オンラインショッピングの場合

膨大なデータから、そのユーザーに最適と思える商品を提示します。

Point

ビッグデータは、「マーケティング活動」「農作物生産の最適化」「新しい治療や予防」など、様々な分野で活用されようとしています。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。